

霊長類のゲノム解析等のデータをもとに、現在どのようなことが課題になっているのかについてもディスカッションする。具体的には最初に受講生の興味の対象と教員の専門分野をすりあわせ、お互いに理解可能な分野について受講生の自発的な学習に基づいて研究の歴史と現状、今後の課題等についてディスカッションする。また、今後の課題についての解決策を検討し、必要ならば後半部での実習でその実践を試みる。

また、後半部では、実際の研究現場の体験として、DNAを増幅するPCRや配列決定などの実習を行う（場所：愛知県犬山市にある京都大学犬山キャンパス、日程：夏期休暇中の3泊4日程度。詳細はセミナー期間中に決定。）。ゲノムや遺伝子の実験に加え、iPS細胞や霊長類個体の観察も行い、遺伝子から生態まで包括的に捉える契機とする。前半の学習内容に基づいた実習計画を立案し、後半で実践する計画である。ゲノムや遺伝子、細胞の実験は、京都大学の規定に基づいたものである。

授業回数は前半の講義と後半の実習を合計してフィードバックを含め全15回とする。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

セミナー全体を通して、総合的に判断する。特に、各回におけるディスカッションの論理的整合性・独創性・おもしろさや発表、討論への積極性を評価する。詳細については、授業中に説明する。

【教科書】

必要に応じてプリント等を配布予定。

【参考書等】

（参考書）

京都大学霊長類研究所『新しい霊長類学—人を深く知るための100問100答』（講談社ブルーバックス）ISBN:978-4-06-257651-2

京都大学霊長類研究所『新・霊長類学のすすめ（京大人気講義シリーズ）』（丸善出版）ISBN:978-4-621-08533-2

中村桂子、松原謙一 著『細胞の分子生物学 第5版』（ニュートンプレス）ISBN:978-4315518672

山極寿一、尾本恵市『日本の人類学』（ちくま新書）ISBN:978-4-480-07100-2

（関連URL）

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/bunshi/identshi/index.html>

【授業外学修（予習・復習）等】

各自が、テーマとなる生命科学の先端技術等のネタについて事前に調べ、プレゼンテーションを行うための準備を行ってほしい。発表様式は自由。

【その他（オフィスアワー等）】

特に高校生物の履修経験は問わないが、生命科学への興味をもった希望者を歓迎する。インターネット、電子メール、PowerPointなどは使えることが望ましいが、必要に応じて授業期間内に習得しても構わない。

夏季休暇中の実験実習に関しては、旅費（京都からの往復交通費1万円程度）は原則として受講生の負担とするが、希望者には補助も行う。宿泊費は1泊千円程度の犬山キャンパス宿泊棟を利用予定。学生教育研究災害傷害保険に各自加入しておくこと。採点報告日（8月中旬）以降に集中講義を実施する場合は、成績報告が前期に間に合わない可能性がある。